



# 東青の環境公共だより

“地域づくりの新しいかたち” 環境公共

東青版第6号 平成31年1月10日  
発行／東青地域環境公共調整会議事務局  
〒030-0861 青森市長島二丁目10番3号  
東青地域県民局地域農林水産部農村計画課  
TEL 017-734-9992 FAX 017-734-8312

## 東青管内の取組

東青地域は、県都青森市と東津軽郡の5市町村で構成されています。青森市の市街地周辺では、野菜を主体とした都市近郊型農業が展開されており、また、農村地域では稲作などの水田農業やりんごなどの果樹栽培がさかんに行われています。

このような、地域の豊かな農林水産業を支え、本県における「攻めの農林水産業」の推進にもつなげるため、東青地域県民局地域農林水産部では、農業・林業・水産業の3分野で連携しながら「環境公共」の活動を行い、健全な水循環システムの再生・保全へ向けた取り組みを進めています。

「東青の環境公共だより」は、東青管内における今年度の主な取組を広く県民に知ってもらうために発行しています。その他の取組については、東青県民局地域農林水産部のホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。

(アドレス <http://www.pref.aomori.lg.jp./soshiki/kenmin/hi-nosui/nousonseibi.html>)

## 今年度のイベント

### ★環境公共推進プロジェクト「東青の農業収穫体験学習会」

平成30年7月28日（土）に青森市と蓬田村で、小学生と保護者を対象に「東青の農業収穫体験学習会」が行われました。

この体験学習は東青地域県民局地域農林水産部が主催となり、青森のおいしい農産物の生産基盤が、地域の人の手によって守られ、次の世代に引き継がれていることへの理解を深めることを目的として開催されました。

参加者は、青森市の奥内で水循環の勉強とたまねぎの収穫体験、蓬田村ではミニトマトの収穫体験を楽しみました。たまねぎは簡単に土から引き抜けるので、子供達は楽しみながら収穫していました。子供達は両手にたまねぎとミニトマトをたくさん入れた袋を持ち、満足そうにしていました。

この体験学習を通じて、参加者は青森県の取組や自分たちの住んでいる地域の農産物の魅力に改めて気づいたと思います。



集合写真



水循環のお勉強



簡単に抜けて楽しい！



ミニトマトおいしい！

## 環境公共の取組

### ★幸畑地区経営体育成基盤整備事業

本地区は、青森市に位置し、北は青森自動車道及び国道環状7号線、東は県道青森田代十和田線に囲まれた堤川水系横内川による同じ用排水系統を有する営農団地です。本地区の水田は形状が不整形であり、耕作道路も狭小でかつ水路は用排兼用の土水路であることから、作業効率の悪い状況でした。

そこで、平成26年度からほ場整備事業を実施し、現在はほ場の水はけを良くし、汎用化する目的で暗渠排水工事を行っています。右の写真は暗渠排水の施工状況で、この地区では暗渠排水の疎水材として本県の特産であるホタテの貝殻を利用しています。県内で年間に排出されるホタテの貝殻は約4万5千トンであり、その処理が長年の課題となっています。ホタテの貝殻は本来産業廃棄物として処理されますが、暗渠排水の一部として活用することで、その処理に貢献しています。

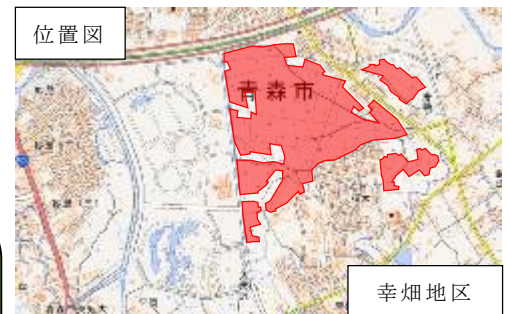
このような水産業との連携は、「環境公共」を目指す3つの方向性の1つである『農・林・水の強固な連携』として青森県が積極的に取り組んでいます。



暗渠排水の施工状況



ホタテの貝殻



位置図

幸畑地区

#### 環境公共とは？

青森県では、「農林水産業を支えることは地域の環境を守ることにつながる」との観点から、農林水産業の生産基盤や農山漁村の生活環境などの整備を行う公共事業を「環境公共」と位置付けています。

青森県環境公共ホームページ

(<http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/kankyokoukyou.html>)

#### ◆事業概要

工 期：平成26年度～平成31年度  
事 業 費：692,000千円  
事 業 内 容：区画整理 A=41.3ha  
暗渠排水 A=41.3ha

## 最近の話題

### ★東青地区緑の少年団交流集会

平成30年9月29日（土）に、平内町夜越山森林公園で、ヒノキアスナロ緑の少年団と今別緑の少年団を対象に「東青地区緑の少年団交流集会」が行われました。この体験学習は農山漁村での様々な体験を通して、青森の森林や農産物が地域の人の手によって守られ、次の世代に引き継がれていることへの理解を深めることを目的に、森林環境教室、林業体験、水循環・ほ場整備に関する学習を行いました。

農村計画課からは水循環やほ場整備について説明を行いました。ほ場整備という言葉が学校で習った参加者もあり、説明を熱心に聞き質問をしていました。特に、今別緑の少年団の方々は現在今別町二股地区ではほ場整備が行われていると聞き、より身近なものであると実感したのではないのでしょうか。

この体験学習をとおして、青森県の取組や、森林、ほ場整備の大切さを知っていただけたと思います。



水循環・ほ場整備のお勉強



集合写真